

釧路工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	音楽
科目基礎情報						
科目番号	0006		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実技		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子工学分野		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	教科書：MOUSA 1（教育芸術社） 補助教材：Music Note ～基礎から学ぶ高校音楽～（啓隆社） 参考書：改訂音楽通論（教育芸術社）、中学生・高校生のための吹奏楽・楽典・音楽理論（シンコーミュージック）					
担当教員	林 幸利,中野 國韻					
到達目標						
音楽美を理解し感得することで創造的意欲を喚起し、美的情操と豊かな人間性を養い、さらには音楽の文化や歴史、その価値観の多様性を理解するために、以下の2つのことを到達目標とする。 1．楽譜の意味を理解し、正しく読み書きができる。 2．適切に歌唱や楽器の演奏ができる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 音符や休符の示すリズムと音名を理解し、正しく読み書きができる。		楽譜によって正しく演奏でき、メロディーを正しく記譜することができる。	楽譜の意味を理解でき、アドバイスがあれば記譜することもできる。		楽譜の意味が理解できず、読み書きもできない。	
評価項目2 正しく楽器の演奏ができる。		キーボード、リコーダー、ギターというタイプの異なる楽器を複数演奏できる。	キーボード、リコーダー、ギターのうちひとつを正しく演奏できる。		楽器の演奏ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A						
教育方法等						
概要	音楽美を理解し感得することで創造的意欲を喚起し、美的情操と豊かな人間性を養い、さらには音楽の文化や歴史、その価値観の多様性を理解するために、音楽を聴いて音の組み立てを理解し、さらには楽譜の意味を理解して実際に楽譜を読んだり記譜することを行う。また音符とリズムの関係を理解し、楽器の演奏やアンサンブルを楽しむ、さらに自作の詩にメロディーをつけることも行う。さらに、世界各地の音楽を聴き、その特徴を捉え、音楽の文化的歴史的な背景を理解する。					
授業の進め方・方法	音楽を愛好する心の育成と共に、音を出すことに責任を持てるようにする。歌唱・器楽・楽典・創作・鑑賞などの分野をバランス良く組み立てながら授業を進め、それらについて、小テスト・実技テスト・課題提出等を授業の中で行い、定着状況を把握すると共に評価の資料とする。その割合は、小テスト40％、実技テスト40％、提出課題20％、として、この合計点により合否判定を行い、60点以上で合格とする。さらに、学習意欲や学習態度の観点から、この合否判定評価最大10点を加算もしくは減算し最終成績とする。なお、合否判定成績で60点に満たない者は、到達レベルの低い内容についての課題提出・ペーパーまたは実技のテスト等を行い、合計点が60点以上で合格とする。					
注意点	実技の練習は自らが意欲的にを行い、友人同士で助け合うなど効率的に行なうことが大切です。リコーダー、キーボード等の楽器は大切に使用してください。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 音楽の要素としくみ		1年間の授業の目標と見通しを持つことができる。音楽のきまりを理解できる	
		2週	音楽の要素としくみ 歌唱の基礎		音楽のきまりを理解できる	
		3週	歌唱と器楽（リコーダー） リズム		音楽を身体で感得し、リズムを記譜することができる	
		4週	歌唱と器楽（リコーダー） リズム		音楽を身体で感得し、リズムを記譜することができる	
		5週	歌唱と器楽（リコーダー） メロディー		能力を身に着けることができる音楽を注意深く聴くことができる	
		6週	歌唱と器楽（リコーダー） メロディー		読譜能力を身に着けることができる	
		7週	歌唱と器楽（リコーダー） 聴音		音楽を注意深く聴き、正しく記譜する能力を身に着けることができる	
		8週	前期中間試験を実施しない			
	2ndQ	9週	歌唱と器楽（リコーダー） 聴音		正しい音程・リズムで歌うことができる。	
		10週	物語と音楽 リコーダー		物語の情景や登場人物の心情を音楽でどう表現しているかを感じることができる。	
		11週	物語と音楽 リコーダー		物語の情景や登場人物の心情を音楽でどう表現しているかを感じることができる。	
		12週	リコーダー		正しい奏法で、楽譜通り正確にリコーダーを演奏できる。	
		13週	リコーダー		正しい奏法で、楽譜通り正確にリコーダーを演奏できる。	
		14週	音楽の要素としくみ		音楽の要素としくみを理解する。	
		15週	音楽の要素としくみ		音楽の要素としくみを理解する。	
		16週	前期期末試験を実施しない			
後期	3rdQ	1週	創作		メロディーに詞をつけることができる。	
		2週	創作 器楽（キーボード）		自作の詞にメロディーをつけることができる。	
		3週	創作 器楽（キーボード）		自作の詞にメロディーをつけることができる。	

		4週	創作 器楽（キーボード）	自作の詞にメロディーをつけ、発表することができる。
		5週	音楽史 絵画と音楽	音楽の文化的、歴史的な背景を理解できる
		6週	音楽史 絵画と音楽	音楽の文化的、歴史的な背景を理解できる。
		7週	音楽史 絵画と音楽	音楽の文化的、歴史的な背景を理解できる
		8週	後期中間試験を実施しない	
	4thQ	9週	アメリカ大陸の音楽	諸民族の音楽的特徴を捉えることができる。
		10週	ドイツの音楽	諸民族の音楽的特徴を捉えることができる。
		11週	イタリアの音楽	諸民族の音楽的特徴を捉えることができる。
		12週	合唱と合奏（アニメ・メドレー）	有名な曲を演奏することができる。 アンサンブルを楽しむことができる。
		13週	合唱と合奏（アニメ・メドレー）	有名な曲を演奏することができる。 アンサンブルを楽しむことができる。
		14週	混声四部合唱	ハーモニーを感じながらリズム・メロディーを正しく歌うことができる。
		15週	混声四部合唱	ハーモニーを感じながらリズム・メロディーを正しく歌うことができる。
		16週	後期期末試験を実施しない	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0